

県文連「芸術たのしみひろば」2018
2018年度倉文協国際交流事業

2018年度

朴 敏壽(パク・ミンス) (Park Minsu)氏を迎えての、
日韓親善写真家交流事業
写真展《抽象の世界》企画

主 旨 鳥取県と韓国江原道は久しく国際交流を続けています。特に、鳥取県文化団体連合会は江原道芸術総連合会との文化交流が盛んで、今日まで続けてきています。そんな中で、江原道芸総のチェ・ジスン氏・シム・サンマン氏・パク・クァンリン氏・シム・チャンソプ氏に続きパク・ミンス氏をお招きし、氏の写真作品を国際交流展として鳥取県倉吉市に於いて開催することになりました。それに付随して、**県内の写真作家との交流親善を図りたいと芸術たのしみひろば**を開催する予定です。

また、主催する倉吉文化団体協議会は、県文連市町村分野に加入しており、今回は県からの委託事業「芸術たのしみひろば」の一環として事業展開する予定です。

主 催 鳥取県・鳥取県文化団体連合会・倉吉文化団体協議会

後 援 倉吉市・倉吉市教員委員会・鳥取県中部地区日韓親善協会・鳥取県文化団体連合会・鳥取県写真家連盟・中部地区各写真団体・マスコミ各社等へ申請予定

助成申請 未定

開催期日 展覧会期間 **2018年9月1日(土)～9月29日(土)**

交流会期日 **2018年9月8日(土)～9月11日(火) 3泊4日**

展覧会場 倉吉市文化活動センター リフレギャラリー

〒682-0817 鳥取県倉吉市住吉町 77-1 0858-23-6095

交流会場 倉吉市文化活動センター1F 第一活動室

通 訊 鈴木京花 TEL 090-6437-4980 e-mail:kyokaclub@gmail.com

受け入れ 倉吉文化団体協議会 計羽孝之 e-mail:figarofigaro@do4.enjoy.ne.jp

担当者TEL090-1361-7574

約 束 事 ①会期は 29 日間とする。写真展に関わる経費(写真のプリント、額装経費等)は主催者で負担。

②鳥取県内写真作家との交流親善写真研修会の開催(2018.9.9)

シンポジウムの開催

パネラーの想定/パク・ミンス氏(江原道写真家協会)・チェ・ジスン氏(江原道芸総元会長)

福島多暉夫氏(米子市写真家協会)・赤井あずみ氏(鳥取県立博物館学芸員/写真担当)

基調提案/コーディネーター/計羽孝之

③作家が倉吉市を訪問する場合は、渡航旅費は本人負担とする。滞在費等は主催者で負担する。随行者の滞在費は受益者負担とする。また、その期間は下記の日程とする。

日 程 往路【米子空港利用】(歓送迎は倉吉文化団体協議会で担当)

2018.9.7(金) 09:30 ソウル発⇒11:00 米子空港着⇒昼食(米子市内)12:00⇒大山国立公園・植田正治写真美術館見学 15:30⇒夕食会(倉吉シティホテル内ふじ蔵 18:30)⇒倉吉シティホテル泊

9.8(土) 10:00 琴浦町「塩谷定好写真資料館」見学・地元写真作家(新勝人氏ほか)との交流⇒蒜山高原撮影会⇒昼食(蒜山ジンギスカン)⇒関金温泉「湯命館」⇒ホテル着

- 9.9(日) 11:50 昼食(白壁倶楽部)
 13:00 写真展ギャラリートーク
 13:30 歓迎ミニコンサート(出演/鳥取オペラ協会ソリスト)
 ソプラノ/寺内智子 ピアノ/新田恵理子
 14:00 朴敏壽氏を迎えての交流親善写真研修会
 「写真の抽象表現の楽しみ」シンポジウムの開催
 (会場/倉吉市文化活動センター1F 第1活動室)
 18:30 懇親会(日本料理「飛鳥」)⇒倉吉シティホテル泊
- 9.10(月) 10:00 交流撮影会⇒鳥取砂丘(昼食)⇒池本写真美術館見学⇒18:30(未定)
 夕食(未定)⇒倉吉シティホテル泊
- 9.11(火) 09:00 倉吉発⇒イオン日吉津店⇒昼食⇒空港
 15:00 米子空港発便(OZ163 便)で帰国

その他 展示について/ギャラリストの指示に従って倉吉文化団体協議会事務局にて額装、展示する。

招待作家「朴 敏壽(パク・ミンズ)氏(Park Minsu)」プロフィール

作家紹介

名前: 朴ミンズ(朴敏壽、Park min-su) 大韓民国江原道春川(1943年)生まれ

詩人、ソウル大学文学博士、春川(チュンチョン)教育大学教授及び総長歴任

現在 <朴敏壽脳経営研究所>所長

著書: <現代詩のリアリズムとモダニズム>他 多数

詩集: <とんぼに乗って> <ある懐かしい日の夢想>他 多数

写真詩集: <詩人、詩を超越する>

写真集: <光 魂 踊り>

写真個展: 大韓民国江原道春川市文化芸術会館個展で 80 枚展示

2016 大韓民国江原道原州市文化財団招待個展で 50 枚展示

2018(9.1-15)大韓民国江原道春川市<ギャラリートゥーン>個人招待展で 30 枚展示予定

作家のコメント

写真展テーマ: 花の神話

私は元々詩人でしたが、私のような人間が、周りの写真家たちの勧めで 2002 年から写真活動に参加する事になりました。私は詩を書くように写真の創造的な芸術性に深い関心を持って、様々なアプローチを模索し始めました。

ある時、夜の月や昼の太陽の光が自然の中と様々な形で合わさった瞬間、特別な輝きと模様に気付きました。これをきっかけに私は全ての事物が光との出会いを通じて、それぞれ違う形を表す様々な潜在的な映像を見つけて、それを撮影する写真作業に没頭するようになりました。

そして、2015 年第 1 回、2016 年第 2 回と続けて写真展示をしたところ、沢山の人から共感を寄せられました。今回、日本の倉吉市で開かれる写真展の作品は、主に多くの種類の花が、太陽の光を受けて表すそれぞれの瞬間瞬間、その表面に作り上げている多様な映像の影を探して撮影したものです。

この映像写真は、主に実像を超越したイメージであり、詩人としての創造性、芸術精神が反映されていると評価されております。

私の作品が倉吉文化団体協議会のお招きで、展覧会を開催できることを大変光栄に思っております。ありがとうございます。